科研費

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 6 年 4 月 7 日現在

機関番号: 12501

研究種目: 基盤研究(B)(一般)

研究期間: 2020~2023 課題番号: 20H01178

研究課題名(和文)哲学、教育哲学、教育実践を架橋した共同研究による新たな徳認識論の理論の構築

研究課題名(英文)Virtue Epistemology in Japan

研究代表者

立花 幸司 (Tachibana, Koji)

千葉大学・大学院人文科学研究院・准教授

研究者番号:30707336

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 13,000,000円

研究成果の概要(和文):本プロジェクトの研究の目的は、哲学、教育哲学、教育実践者の緊密な共同研究による、理論的に妥当で教育実践上も有効な徳認識論の理論を構築することである。具体的には、日本という教育文化的風土における善き認識者の「徳」を明らかにし、それに基づいた徳認識論の新たな理論を提案することである。目的達成のため、講論・国内外の学会での研究発表やワークショップ等を実施し、そこで得られた指摘を元に内容をよりよいものとし、その成果を、専門家向けには国内雑誌や海外雑誌での学術論文として発表し、より一般向けには、邦語書籍『徳の教育と哲学:理論から実践、そして応用まで』(立花幸司編著、2023年)として刊行した。

研究成果の学術的意義や社会的意義 本プロジェクトで得られた意義として、(1)徳について日本の観点から考察することで認識論的に新たな視座 を与えた点、また、(2)哲学者・教育哲学者・教育実践者が密な共同研究を行うことで、専門家向けにも一般 向けにも豊かな成果を挙げられることを実際に示した点に、学術的な意義がある。他方で、(3)徳という複雑 な概念を用いながらも、フィールドとアプローチを明確にすることで現実社会(本プロジェクトの場合は学校教育)を新たな角度から分析することができることを示し、現実を再考しより良くするための一助となったという 点に、社会的意義がある。

研究成果の概要(英文): This research project aims to construct a theory of virtue epistemology that is theoretically valid and effective in educational practice through close collaboration between philosophers, philosophers of education, and educational practitioners. To achieve the project's objective, the researchers surveyed and discussed related studies and presented their ideas at national and international conferences and workshops. Based on the feedback, they revised their theories and published them as academic articles in national and international journals. They also published a Japanese book, "Philosophy and Education of Virtue: From Theory to Practice, and Applications" (Edited by Koji Tachibana, 2023), for a more general audience.

研究分野: 哲学

キーワード: 徳 徳倫理 学校教育 徳認識論 道徳 教育 教育哲学 アリストテレス

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1.研究開始当初の背景

認識主体の「徳」の観点から認識・知識を研究する徳認識論は、認識論の分野の新たなアプローチとして注目を集めているが、哲学と教育哲学の交流の不在に起因した研究の遅延が国内外で指摘されていた。

2.研究の目的

そこで本プロジェクトでは、哲学、教育哲学、教育実践者の緊密な共同研究による、理論的に 妥当で教育実践上も有効な徳認識論の理論を構築する。具体的には、日本という教育文化的風土 における善き認識者の「徳」を明らかにし、それに基づいた徳認識論の新たな理論を提案する。

3.研究の方法

【全般的な方法】

以下の三つの方法を合わせて研究を進めた

- 1. 【哲学分野】 哲学とりわけ徳認識論と徳倫理学に関わる文献調査とそれに関する議論 にもとづく理論形成。
- 2. 【教育哲学分野】 教育哲学における徳の扱い方に関わる文献調査とそれに関する議論 にもとづく理論形成。
- 3. 【教育実践】 日本の学校教育の現場において「徳」がどのように関わるのか関する検討。
- 4. 【相互の関連性調査】 上記1~3のあいだに関連性があるところを捜し出し、またその関連性がどのような意義をもつのかを検討。

【初年度】

上記の観点からの既存の研究のサーヴェイと理論の形成を行った。

【二年目以降】

以下の二つのアプローチを同時に進めた。

アプローチ 1:サーヴェイに基づいた議論を国内外の学会で発表しながら、専門雑誌に投稿 し、成果として掲載する。

アプローチ2:理論を用いて質問紙調査を実施することで、徳についての意識調査を行い、 現代日本における徳の意識について成果をまとめる。

【最終年度】

引き続き国際学会等へ参加・発表しながら、これまでの研究成果に基づいた書籍を刊行する。

4.研究成果

本プロジェクトの研究成果は、学術的な成果と社会的な成果の二つにわけることができる。

【学術的な成果】

日本という教育文化的風土における善き認識者の「徳」にかんして、専門的な知見を得た。これらは、国内外の学術専門雑誌に掲載されるかたちで、専門家に向けて数多く発表された。また、意思調査の成果として以下の論文が刊行された。(*ただし、この論文も含め、最終年度の成果一覧は本ファイルの以下の「5.主な発表論文等」には反映されていないため、科研費のウェブサイト上で確認されたし。)

Tachibana, Koji and Eisuke Nakazawa. (2024). The consciousness of virtue: uncovering the gaps between educational specialists and the general public in their understanding of virtue in Japan. *Frontiers in Psychology*, 14:1171247. doi: 10.3389/fpsyg.2023.1171247

【社会的な成果】

学術的な成果として得られた日本の「徳」について、社会(本プロジェクトの場合は学校教育)を新たな角度から分析することで、現実を再考しより良くするための一助となった。これは、書籍『徳の教育と哲学』(立花幸司編著、2023年)として、寄り一般向けに発表された。

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計31件(うち査読付論文 10件/うち国際共著 1件/うちオープンアクセス 5件)

| 1.著者名 立花幸司 | 4 . 巻 21 |
|---|-------------|
| 2. 論文標題 | 5 . 発行年 |
| 国際平和のための法と徳:カントとアリストテレスの視点 | 2023年 |
| 3.雑誌名 | 6.最初と最後の頁 |
| インターカルチュラル 日本国際文化学会年報 | 64-78 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 |
| | |
| 1 . 著者名 | 4 . 巻 |
| 立花幸司 | · |
| 2 . 論文標題 | 5 . 発行年 |
| 宇宙進出時代における宇宙の視座の多様化 | 2023年 |
| 3.雑誌名 | 6.最初と最後の頁 |
| 『地球/月圏での人間社秋の構築に向けた人文・社会科学研究』、柳川孝二・岡田浩樹編、学術研究出版 | 212-220 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) | 査読の有無 |
| なし | 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 |
| | |
| 1 . 著者名 | 4.巻 |
| 立花幸司 | 58 |
| 2 . 論文標題 | 5 . 発行年 |
| 私が英語で研究活動する三つの理由 | 2022年 |
| 3.雑誌名 | 6.最初と最後の頁 |
| 『科学哲学:ニューズレター』 | 5-8 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) | 査読の有無 |
| なし | 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 |
| | |
| 1 . 著者名 | 4.巻 |
| 山田圭一 | 49 |
| 2 . 論文標題 | 5 . 発行年 |
| 悲しみを見るとはどのようなことか ウィトゲンシュタインの直接知覚説の検討 | 2022年 |
| 3 . 雑誌名 | 6.最初と最後の頁 |
| 哲学論叢 | 1-11 |
| | |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) | 査読の有無 |
| なし | 無 |
| | |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著 |

| 1 . 著名名 | | |
|--|--|--|
| 世間主 2. 論文経題 2. 論文経題 3. 辨試名 3. 辨試名 3. 辨試名 3. 辨試名 3. 辨試名 4. 意 | │ 1 . 著者名 | 4 . 巻 |
| 2 : 前文標題 | | 1185 |
| 意味は体験されるのか 『哲学探究』第一部と第二部の違いを考える 2022年 6. 最初と最後の頁 104-119 7. 2021年 7. 2021 | шнт | 1 |
| 意味は体験されるのか 『哲学探究』第一部と第二部の違いを考える 2022年 6. 最初と最後の頁 104-119 7. 2021年 7. 2021 | 0. 40-2-197 | 5 7V./= h= |
| 3. 熱診名 思想 | 2 . 論文標題 | 5.発行年 |
| 3. 熱診名 思想 | 意味は体験されるのか 『哲学探究』第一部と第二部の違いを考える | 2022年 |
| 根数論文の001 (デジタルオブジェクト機別子) | | |
| 根数論文の001 (デジタルオブジェクト機別子) | 2 1825-67 | 6 見知し見後の声 |
| 指数論文の201 (デジタルオブジェクト識別子) をし | | り、 |
| 指数論文の201 (デジタルオブジェクト識別子) をし | | 104-119 |
| ### オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが国難 | | |
| ### オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが国難 | | |
| ### オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが国難 | | 1 + + + - + fm |
| 1 著名名 | 掲載舗又のDOI(テンタルオフシェクト識別子) | 貧読の有無 |
| 1 著名名 | なし | # |
| *** *** *** *** *** *** *** *** *** * | | XIII |
| *** *** *** *** *** *** *** *** *** * | | 国際共英 |
| 1. 著名名 山田主 2. 論文標題 レッスンのなかで見るということ 哲学とエスノメソドロジーの交差点 3. 雑誌名 ハッ宮友根・黒嶋智美線著、"実践の論理を描く 相互行為のなかの知識・身体・こころ』、勁草書房 5. 飛行年 2023年 3. 雑誌名 六の方人根・黒嶋智美線著、"実践の論理を描く 相互行為のなかの知識・身体・こころ』、勁草書房 3. 雑誌名 古ープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著名名 佐藤邦敦 2. 論文標題 学習者の「信仰の火をつける」ことについての一解釈:教えることと知的価値の姿容 3. 雑誌名 自律した学習者を育てる英語教育の探求 5. 飛行年 2023年 3. 雑誌名 6. 最初と最後の頁 21・25 3. 雑誌名 6. 最初と最後の頁 5. 発行年 2023年 3. 雑誌名 6. 最初と最後の頁 5. 発行年 7 カープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 7 カープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 5. 発行年 7 カープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 7 カープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 7 カープンアクセスにはい。又はオープンアクセスが困難 7 カープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 7 カープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 7 カープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 7 カープンアクセスではない。アはオープンアクセスが困難 7 カープンアクセスを表しています。 8 連続名 5 の有無 7 を表しています。 7 を表して | | 国际共者 日本 |
| 1. 著名名 山田主 2. 論文標題 レッスンのなかで見るということ 哲学とエスノメソドロジーの交差点 3. 雑誌名 ハッ宮友根・黒嶋智美線著、"実践の論理を描く 相互行為のなかの知識・身体・こころ』、勁草書房 5. 飛行年 2023年 3. 雑誌名 六の方人根・黒嶋智美線著、"実践の論理を描く 相互行為のなかの知識・身体・こころ』、勁草書房 3. 雑誌名 古ープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著名名 佐藤邦敦 2. 論文標題 学習者の「信仰の火をつける」ことについての一解釈:教えることと知的価値の姿容 3. 雑誌名 自律した学習者を育てる英語教育の探求 5. 飛行年 2023年 3. 雑誌名 6. 最初と最後の頁 21・25 3. 雑誌名 6. 最初と最後の頁 5. 発行年 2023年 3. 雑誌名 6. 最初と最後の頁 5. 発行年 7 カープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 7 カープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 5. 発行年 7 カープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 7 カープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 7 カープンアクセスにはい。又はオープンアクセスが困難 7 カープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 7 カープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 7 カープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 7 カープンアクセスではない。アはオープンアクセスが困難 7 カープンアクセスを表しています。 8 連続名 5 の有無 7 を表しています。 7 を表して | オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | - |
| 山田圭一 - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | | • |
| 山田圭一 - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 4 *** | 4 24 |
| 2. 論文標題 レッスンのなかで見るということ 哲学とエスノメソドロジーの交差点 3. 雑誌名 小宮友根・黒嶋智美編著、『実践の論理を描く 相互行為のなかの知識・身体・こころ』、勁草書房 3 品類と最後の頁 236-261 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 1. 著者名 佐藤邦政 2. 論文標題 デ習者の「信仰の火をつける」ことについての一解釈:教えることと知的価値の変容 3. 雑誌名 自律した学習者を育てる英語教育の探求 3. 雑誌名 自律した学習者を育てる英語教育の探求 3. 本式シアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 3. 本式を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を | | 4 . 奁 |
| 2. 論文標題 レッスンのなかで見るということ 哲学とエスノメソドロジーの交差点 3. 雑誌名 小宮友根・黒嶋智美編著、『実践の論理を描く 相互行為のなかの知識・身体・こころ』、勁草書房 3 品類と最後の頁 236-261 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 1. 著者名 佐藤邦政 2. 論文標題 デ習者の「信仰の火をつける」ことについての一解釈:教えることと知的価値の変容 3. 雑誌名 自律した学習者を育てる英語教育の探求 3. 雑誌名 自律した学習者を育てる英語教育の探求 3. 本式シアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 3. 本式を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を | | - |
| レッスンのなかで見るということ 哲学とエスノメソドロジーの交差点 2023年 3 . 雑誌名 小宮友根・黒嶋智美操著、『実践の論理を描く 相互行為のなかの知識・身体・こころ』、勁草書房 6 . 最初と最後の頁 236-251 掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 1 . 養者名 佐藤邦政 2 . 論文標題 学習者の「信仰の火をつける」ことについての一解釈:教えることと知的価値の変容 5 . 発行年 2023年 3 . 雑誌名 自律した学習者を育てる英語教育の探求 6 . 最初と最後の頁 21-25 掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 4 . 巻 . 1 . 著者名 Koichiro Misawa 4 . 巻 . 2 . 論文標題 Rationality environmentalised (with and beyond Michael Bonnett) 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 Environmental Education Research 6 . 最初と最後の頁 1 ~ 12 掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/18504622.2022.2067324 重読の有無 有 2元プンアクセス | | |
| レッスンのなかで見るということ 哲学とエスノメソドロジーの交差点 2023年 3 . 雑誌名 小宮友根・黒嶋智美操著、『実践の論理を描く 相互行為のなかの知識・身体・こころ』、勁草書房 6 . 最初と最後の頁 236-251 掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 1 . 養者名 佐藤邦政 2 . 論文標題 学習者の「信仰の火をつける」ことについての一解釈:教えることと知的価値の変容 5 . 発行年 2023年 3 . 雑誌名 自律した学習者を育てる英語教育の探求 6 . 最初と最後の頁 21-25 掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 4 . 巻 . 1 . 著者名 Koichiro Misawa 4 . 巻 . 2 . 論文標題 Rationality environmentalised (with and beyond Michael Bonnett) 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 Environmental Education Research 6 . 最初と最後の頁 1 ~ 12 掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/18504622.2022.2067324 重読の有無 有 2元プンアクセス | 2 *6.4-1-17 | F 38/- F |
| 3 . 雑誌名 | ····· | |
| 3 . 雑誌名 | レッスンのなかで見るということ 哲学とエスノメソドロジーの交差点 | 2023年 |
| 小宮友根・黒嶋智美編著、『実践の論理を描く 相互行為のなかの知識・身体・こころ』、勁草書房 236-251 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 重際共著 オープンアクセス 1. 著者名 佐藤邦政 2 . 論文標題 学習者の「信仰の火をつける」ことについての一解釈:教えることと知的価値の変容 5 . 発行年2023年 3 . 雑誌名 自律した学習者を育てる英語教育の探求 6 . 最初と最後の頁21-25 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 重読の有無 オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 Koichiro Misawa 4 . 巻 2 . 論文標題 Rationality environmentalised (with and beyond Michael Bonnett) 5 . 発行年2022年 3 . 雑誌名 Environmental Education Research 6 . 最初と最後の頁1-12 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)10.1080/13504622.2022.2067324 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 | | |
| 小宮友根・黒嶋智美編著、『実践の論理を描く 相互行為のなかの知識・身体・こころ』、勁草書房 236-251 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 重際共著 オープンアクセス 1. 著者名 佐藤邦政 2 . 論文標題 学習者の「信仰の火をつける」ことについての一解釈:教えることと知的価値の変容 5 . 発行年2023年 3 . 雑誌名 自律した学習者を育てる英語教育の探求 6 . 最初と最後の頁21-25 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 重読の有無 オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 Koichiro Misawa 4 . 巻 2 . 論文標題 Rationality environmentalised (with and beyond Michael Bonnett) 5 . 発行年2022年 3 . 雑誌名 Environmental Education Research 6 . 最初と最後の頁1-12 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)10.1080/13504622.2022.2067324 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 | 2 hb±t-42 | 6 見知と見後の声 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著者名 佐藤邦政 2 . 論文標題 学習者の「信仰の火をつける」ことについての一解釈:教えることと知的価値の変容 3 . 雑誌名 自律した学習者を育てる英語教育の探求 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセス オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著者名 Koichi ro Misawa 2 . 論文標題 Rational ity environmental ised(with and beyond Michael Bonnett) 3 . 雑誌名 Environmental Education Research お . 2 . 論文程題 Environmental Education Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 1 . 1 . 2 | | 6.最例と最後の貝 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著者名 佐藤邦政 2 . 論文標題 学習者の「信仰の火をつける」ことについての一解釈:教えることと知的価値の変容 3 . 雑誌名 自律した学習者を育てる英語教育の探求 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセス オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著者名 Koichi ro Misawa 2 . 論文標題 Rational ity environmental ised(with and beyond Michael Bonnett) 3 . 雑誌名 Environmental Education Research お . 2 . 論文程題 Environmental Education Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 1 . 1 . 2 | 小宮友根・黒嶋智美編著、『実践の論理を描く 相互行為のなかの知識・身体・こころ』、勁草書房 | 236-251 |
| ### オープンアクセス | | |
| ### オープンアクセス | | |
| ### オープンアクセス | | |
| Table Ta | 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) | 査読の有無 |
| Table Ta | 선물 | m |
| オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1. 著者名 佐藤邦政 4. 巻 12 2. 論文標題 学習者の「信仰の火をつける」ことについての一解釈:教えることと知的価値の変容 5. 発行年 2023年 3. 雑誌名 自律した学習者を育てる英語教育の探求 6. 最初と最後の頁 21-25 掲載論文のD01(デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 1. 著者名 Koichiro Misawa 4. 巻 - 2. 論文標題 Rationality environmentalised (with and beyond Michael Bonnett) 5. 発行年 2022年 3. 雑誌名 Environmental Education Research 6. 最初と最後の頁 1~12 掲載論文のD01(デジタルオプジェクト識別子) 10.1080/13504622.2022.2067324 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 | | A11 |
| オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1. 著者名 佐藤邦政 4. 巻 12 2. 論文標題 学習者の「信仰の火をつける」ことについての一解釈:教えることと知的価値の変容 5. 発行年 2023年 3. 雑誌名 自律した学習者を育てる英語教育の探求 6. 最初と最後の頁 21-25 掲載論文のD01(デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 1. 著者名 Koichiro Misawa 4. 巻 - 2. 論文標題 Rationality environmentalised (with and beyond Michael Bonnett) 5. 発行年 2022年 3. 雑誌名 Environmental Education Research 6. 最初と最後の頁 1~12 掲載論文のD01(デジタルオプジェクト識別子) 10.1080/13504622.2022.2067324 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 | | |
| 1. 著書名 佐藤邦政 4.巻 12 2.論文標題 学習者の「信仰の火をつける」ことについての一解釈:教えることと知的価値の変容 5.発行年 2023年 3. 雑誌名 自律した学習者を育てる英語教育の探求 6.最初と最後の頁 21-25 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4.巻 - 1. 著書名 Koichiro Misawa 4.巻 - 2. 論文標題 Rationality environmentalised (with and beyond Michael Bonnett) 5.発行年 2022年 3. 雑誌名 Environmental Education Research 6.最初と最後の頁 1~12 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13504622.2022.2067324 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 | オープンアクセス | 国際共者 |
| 1. 著書名 佐藤邦政 4.巻 12 2.論文標題 学習者の「信仰の火をつける」ことについての一解釈:教えることと知的価値の変容 5.発行年 2023年 3. 雑誌名 自律した学習者を育てる英語教育の探求 6.最初と最後の頁 21-25 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4.巻 - 1. 著書名 Koichiro Misawa 4.巻 - 2. 論文標題 Rationality environmentalised (with and beyond Michael Bonnett) 5.発行年 2022年 3. 雑誌名 Environmental Education Research 6.最初と最後の頁 1~12 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13504622.2022.2067324 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 | オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | - |
| 佐藤邦政 12 2 . 論文標題 学習者の「信仰の火をつける」ことについての一解釈:教えることと知的価値の変容 5 . 発行年 2023年 3 . 雑誌名 自律した学習者を育てる英語教育の探求 6 . 最初と最後の頁 21-25 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 1 . 養者名 Koichiro Misawa 4 . 巻 - 2 . 論文標題 Rationality environmentalised (with and beyond Michael Bonnett) 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 Environmental Education Research 6 . 最初と最後の頁 1~12 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13504622.2022.2067324 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 | | |
| 佐藤邦政 12 2 . 論文標題 学習者の「信仰の火をつける」ことについての一解釈:教えることと知的価値の変容 5 . 発行年 2023年 3 . 雑誌名 自律した学習者を育てる英語教育の探求 6 . 最初と最後の頁 21-25 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 1 . 養者名 Koichiro Misawa 4 . 巻 - 2 . 論文標題 Rationality environmentalised (with and beyond Michael Bonnett) 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 Environmental Education Research 6 . 最初と最後の頁 1~12 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13504622.2022.2067324 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 | . *** | . 24 |
| 2 . 論文標題 学習者の「信仰の火をつける」ことについての一解釈:教えることと知的価値の変容 5 . 発行年 2023年 3 . 雑誌名 自律した学習者を育てる英語教育の探求 6 . 最初と最後の頁 21-25 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス Koichiro Misawa 国際共著 - 1 . 養者名 Koichiro Misawa 4 . 巻 - 2 . 論文標題 Rationality environmentalised (with and beyond Michael Bonnett) 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 Environmental Education Research 6 . 最初と最後の頁 1~12 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1080/13504622.2022.2067324 重読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 | 1.者首名 | 4. 巻 |
| 2 . 論文標題 学習者の「信仰の火をつける」ことについての一解釈:教えることと知的価値の変容 5 . 発行年 2023年 3 . 雑誌名 自律した学習者を育てる英語教育の探求 6 . 最初と最後の頁 21-25 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス Koichiro Misawa 国際共著 - 1 . 養者名 Koichiro Misawa 4 . 巻 - 2 . 論文標題 Rationality environmentalised (with and beyond Michael Bonnett) 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 Environmental Education Research 6 . 最初と最後の頁 1~12 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1080/13504622.2022.2067324 重読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 | 佐藤邦政 | 12 |
| 学習者の「信仰の火をつける」ことについての一解釈:教えることと知的価値の変容 20/3年 3 . 雑誌名 自律した学習者を育てる英語教育の探求 6 . 最初と最後の頁 21-25 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 - 1 . 著者名 Koichiro Misawa 4 . 巻 - 2 . 論文標題 Rationality environmentalised (with and beyond Michael Bonnett) 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 Environmental Education Research 6 . 最初と最後の頁 1 ~ 12 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10 . 1080/13504622 . 2022 . 2067324 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 | | |
| 学習者の「信仰の火をつける」ことについての一解釈:教えることと知的価値の変容 20/3年 3 . 雑誌名 自律した学習者を育てる英語教育の探求 6 . 最初と最後の頁 21-25 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 - 1 . 著者名 Koichiro Misawa 4 . 巻 - 2 . 論文標題 Rationality environmentalised (with and beyond Michael Bonnett) 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 Environmental Education Research 6 . 最初と最後の頁 1 ~ 12 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10 . 1080/13504622 . 2022 . 2067324 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 | 2 *A | 5 78/- 65 |
| 3 . 雑誌名 自律した学習者を育てる英語教育の探求 | 2 . | 5 . 発行年 |
| 3 . 雑誌名 自律した学習者を育てる英語教育の探求 | 学習者の「信仰の火をつける」ことについての一解釈:教えることと知的価値の変容 | 2023年 |
| 自律した学習者を育てる英語教育の探求 21-25 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 オープンアクセス 国際共著 1.著者名 Koichiro Misawa 4.巻 - 2.論文標題 Rationality environmentalised (with and beyond Michael Bonnett) 5.発行年 2022年 3.雑誌名 Environmental Education Research 6.最初と最後の頁 1~12 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13504622.2022.2067324 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 | in the state of th | |
| 自律した学習者を育てる英語教育の探求 21-25 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 オープンアクセス 国際共著 1.著者名 Koichiro Misawa 4.巻 - 2.論文標題 Rationality environmentalised (with and beyond Michael Bonnett) 5.発行年 2022年 3.雑誌名 Environmental Education Research 6.最初と最後の頁 1~12 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13504622.2022.2067324 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 | 2 145+47 | 6 目初し目後の声 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) | | り、 |
| 無 | 自律した学習者を育てる英語教育の探求 | 21-25 |
| 無 | | |
| 無 | | |
| 無 | | |
| オープンアクセス | 掲載論文のUOI(デジタルオフジェクト識別子) | |
| オープンアクセス | なし | 無 |
| オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 Koichiro Misawa 4 . 巻 - 2 . 論文標題 Rationality environmentalised (with and beyond Michael Bonnett) 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 Environmental Education Research 6 . 最初と最後の頁 1~12 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1080/13504622.2022.2067324 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 | | |
| オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 Koichiro Misawa 4 . 巻 - 2 . 論文標題 Rationality environmentalised (with and beyond Michael Bonnett) 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 Environmental Education Research 6 . 最初と最後の頁 1~12 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1080/13504622.2022.2067324 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 | | |
| 1 . 著者名 Koichiro Misawa 4 . 巻 - 2 . 論文標題 Rationality environmentalised (with and beyond Michael Bonnett) 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 Environmental Education Research 6 . 最初と最後の頁 1~12 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13504622.2022.2067324 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 | | 国除 共者 |
| 1 . 著者名 Koichiro Misawa 4 . 巻 - 2 . 論文標題 Rationality environmentalised (with and beyond Michael Bonnett) 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 Environmental Education Research 6 . 最初と最後の頁 1~12 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13504622.2022.2067324 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 | オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | - |
| For Koichiro Misawa 2. 論文標題 Rationality environmentalised (with and beyond Michael Bonnett) 3. 雑誌名 Environmental Education Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13504622.2022.2067324 有 1本プンアクセス 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 1~12 1本・12 | | |
| For Koichiro Misawa 2. 論文標題 Rationality environmentalised (with and beyond Michael Bonnett) 3. 雑誌名 Environmental Education Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13504622.2022.2067324 有 1本プンアクセス 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 1~12 1本・12 | . ##.6 | 1 . 24 |
| 2.論文標題 Rationality environmentalised (with and beyond Michael Bonnett)5.発行年 2022年3.雑誌名 Environmental Education Research6.最初と最後の頁 1~12掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13504622.2022.2067324査読の有無 有オープンアクセス国際共著 | | 4 . 夸 |
| 2.論文標題 Rationality environmentalised (with and beyond Michael Bonnett)5.発行年 2022年3.雑誌名 Environmental Education Research6.最初と最後の頁 1~12掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13504622.2022.2067324査読の有無 有オープンアクセス国際共著 | Koichiro Misawa | - |
| Rationality environmentalised (with and beyond Michael Bonnett) 3.雑誌名 Environmental Education Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13504622.2022.2067324 有 国際共著 | | |
| Rationality environmentalised (with and beyond Michael Bonnett) 3.雑誌名 Environmental Education Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13504622.2022.2067324 有 国際共著 | 2 *6.49.4#. | F 36/-/- |
| 3.雑誌名 6.最初と最後の頁 Environmental Education Research 1~12 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1080/13504622.2022.2067324 有 オープンアクセス 国際共著 | ~ | |
| 3.雑誌名 6.最初と最後の頁 Environmental Education Research 1~12 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1080/13504622.2022.2067324 有 オープンアクセス 国際共著 | Rationality environmentalised (with and beyond Michael Bonnett) | 2022年 |
| Environmental Education Research 1~12 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1080/13504622.2022.2067324 有 オープンアクセス 国際共著 | , | ' ' |
| Environmental Education Research 1~12 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1080/13504622.2022.2067324 有 オープンアクセス 国際共著 | 2 145+47 | 6 見知に見後の五 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) | | り. 取例と取俊の貝 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) | Environmental Education Research | 1 ~ 12 |
| 10.1080/13504622.2022.2067324 有 オープンアクセス 国際共著 | | |
| 10.1080/13504622.2022.2067324 有 オープンアクセス 国際共著 | | |
| 10.1080/13504622.2022.2067324 有 オープンアクセス 国際共著 | | 1 + ++ + + + + + + + + + + + + + + + + |
| オープンアクセス 国際共著 | 掲載論文の00 (テジタルオフジェクト識別子) | |
| オープンアクセス 国際共著 | 10.1080/13504622, 2022, 2067324 | 有 |
| | | 7 |
| | | |
| オープンアクセスとしている(また、その予定である) - | | |
| | | 国際共著 |
| | | 国際共著 |

| 1. 著者名 | 4 . 巻 |
|--|--------------|
| Koichiro Misawa | - |
| | |
| 2.論文標題 | 5 . 発行年 |
| Practical rationality in education: beyond the Hirst?Carr debate | 2023年 |
| , | • |
| 3 . 雑誌名 | 6.最初と最後の頁 |
| Journal of Philosophy of Education | · 取例C取及の資 |
| Journal of Fiftosophy of Education | - |
| | |
| | **** |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) | 査読の有無 |
| 10.1093/jopedu/qhac002 | 有 |
| | |
| オープンアクセス | 国際共著 |
| オープンアクセスとしている(また、その予定である) | - |
| 3 32 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | |
| 1 英字夕 | 4 . 巻 |
| 1 . 著者名 | |
| 三澤 紘一郎・渡邊 福太郎 | 155 |
| | |
| 2.論文標題 | 5 . 発行年 |
| P・H・ハーストの教育哲学:合理主義と実践的転回 | 2023年 |
| The state of the s | =3=0 1 |
| 2 雄士夕 | 6 早知と見後の百 |
| 3.雑誌名 | 6 . 最初と最後の頁 |
| 哲学(三田哲学界編) | - |
| | |
| | |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) | 査読の有無 |
| なし | 無 |
| | ₩ <u>.</u> |
| オープンアクセス | 国際共著 |
| | 四 你六有 |
| オープンアクセスとしている(また、その予定である) | - |
| | |
| 1.著者名 | 4 . 巻 |
| 土屋陽介 | 72 |
| | |
| 2 . 論文標題 | 5 . 発行年 |
| | |
| 哲学対話が「哲学」と「対話」の実践であるために:ガート・ビースタの哲学対話教育批判の検討を通し | 2023年 |
| τ | |
| 3.雑誌名 | 6.最初と最後の頁 |
| 倫理学年報 | 7-19 |
| ** | |
| | |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) | 査読の有無 |
| · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | |
| なし | 無 |
| | |
| オープンアクセス | 国際共著 |
| オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | - |
| 100 100 100 | |
| 1. 著者名 | 4 . 巻 |
| | |
| 立花幸司 | 6(2) |
| | |
| 2.論文標題 | 5 . 発行年 |
| 現代徳倫理学について:理論の概要、日本における始まり、教育という論点 | 2021年 |
| | - |
| 3 . 雑誌名 | 6.最初と最後の頁 |
| | |
| フィルカル | 82-110 |
| | |
| | |
| 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) | 査読の有無 |
| なし | 無 |
| | A11 |
| オープンアクセス | 国際 |
| カーノンアソビス | 国際共著 |
| | |
| オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | <u> </u> |

| 1. 著者名 Szocik Konrad、Shelhamer Mark、Braddock Martin、Cucinotta Francis A.、Impey Chris、Worden Pete、Peters Ted、Cirkovic Milan M.、Smith Kelly C.、Tachibana Koji、Reiss Michael J.、Norman Ziba、Gouw Arvin M.、Munevar Gonzalo | 4 . 巻 133 |
|---|------------------|
| 2. 論文標題 Future space missions and human enhancement: Medical and ethical challenges | 5 . 発行年 2021年 |
| 3.雑誌名 | 6.最初と最後の頁 |
| Futures | 102819~102819 |
| 掲載論文のD0I(デジタルオブジェクト識別子) | 査読の有無 |
| 10.1016/j.futures.2021.102819 | 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 該当する |
| 1.著者名 立花幸司 | 4 . 巻 |
| 2 . 論文標題 | 5.発行年 |
| エンハンスメントと人生における幸福のかたち | 2022年 |
| 3.雑誌名 | 6.最初と最後の頁 |
| 森岡正博,石井哲也,竹村瑞穂(編著)『スポーツと遺伝子ドーピングを問う:技術の現在から倫理的問題まで』 晃洋書房 | 171-191 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無無無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 |
| 1 . 著者名 | 4.巻 |
| 山田圭一 | 49(16) |
| 2.論文標題 | 5 . 発行年 |
| 見ることの日常性と非日常性 | 2021年 |
| 3.雑誌名 | 6.最初と最後の頁 |
| 現代思想 総特集 = ウィトゲンシュタイン(2022年1月臨時増刊号) | 186-198 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無無無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 |
| 1.著者名 | 4.巻 |
| 佐藤邦政 | 6(2) |
| 2 . 論文標題 | 5 . 発行年 |
| 徳の教育論の展望:その可能性と危険性を見定める | 2021年 |
| 3.雑誌名 | 6.最初と最後の頁 |
| フィルカル | 78-80 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無無無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 |

| 1.著者名 | 4 . 巻 |
|--|--|
| 佐藤邦政 | 6(2) |
| | |
| 2.論文標題 | 5 . 発行年 |
| 人間形成と人間構築をともに視野に入れる知的徳の保育・教育論:解放的徳と認識的不正義を両輪とする | 2021年 |
| 展望 | |
| 3 . 雑誌名 | 6.最初と最後の頁 |
| フィルカル | 112-133 |
| | |
| | 本生の大畑 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) | 査読の有無 |
| なし | 無 |
| オープンアクセス | 国際共著 |
| オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | - |
| | |
| 1.著者名 | 4 . 巻 |
| Misawa Koichiro | 16 |
| | |
| 2.論文標題 | 5.発行年 |
| The pervasiveness of the rational-conceptual: an educational-philosophical perspective on | 2021年 |
| nature, world and 'sustainable development' | 20214 |
| 3.雑誌名 | 6.最初と最後の頁 |
| | |
| Ethics and Education | 289 ~ 306 |
| | |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) | <u> </u> |
| 10.1080/17449642.2021.1908647 | 自動の有無 |
| 10.1000/11***30*2.2021.13000*1 | je je |
| オープンアクセス | 国際共著 |
| オープンテラセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) | - 四际共有 - |
| a フンテノに入ししている (また、ての)/たしのる) | <u>-</u> |
| 1 . 著者名 | 4 . 巻 |
| | 4 · 글 125 |
| /¥궤/」 QP | 123 |
| 2 . 論文標題 | 5.発行年 |
| 2.間入信題 教育と徳理論 導入 | 2022年 |
| 投目に 心柱間 | 2022 *+ |
| | 6.最初と最後の頁 |
| 2 株計夕 | |
| ** ** * * * | |
| 3.雑誌名 教育哲学研究 | 0. 取例と取後の貝 100-102 |
| ***** | |
| 教育哲学研究 | |
| 教育哲学研究 | 100-102 |
| 教育哲学研究 | 100-102 査読の有無 無 |
| 教育哲学研究 曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス | 100-102 査読の有無 |
| 教育哲学研究 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし | 100-102 査読の有無 無 |
| 教育哲学研究 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 100-102 査読の有無 無 国際共著 |
| 教育哲学研究 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 100-102 査読の有無 無 |
| 教育哲学研究 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 100-102 査読の有無 無 国際共著 |
| 教育哲学研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 土屋陽介 | 100-102 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - |
| 教育哲学研究 曷載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス | 100-102 査読の有無 無 国際共著 |
| 教育哲学研究 | 100-102 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - |
| 教育哲学研究 | 100-102 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 |
| 教育哲学研究 | 100-102 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 |
| 教育哲学研究 曷載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス | 100-102 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 |
| 教育哲学研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 土屋陽介 2 . 論文標題 子どもの哲学 (P4C) | 100-102 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 |
| 教育哲学研究 | 100-102 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 |
| 教育哲学研究 引載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 土屋陽介 2 . 論文標題 子どもの哲学 (P4C) 3 . 雑誌名 日本道徳教育学会全集編集委員会・柳沼良太・行安茂・西野真由美・林泰成(編著)『新道徳教育全集 第 2巻 諸外国の道徳教育の動向と展望』、学文社 | 100-102 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 203-210 |
| 教育哲学研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス | 100-102 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 203-210 査読の有無 |
| 表育哲学研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 土屋陽介 2 . 論文標題 子どもの哲学 (P4C) 3 . 雑誌名 日本道徳教育学会全集編集委員会・柳沼良太・行安茂・西野真由美・林泰成(編著)『新道徳教育全集 第2巻 諸外国の道徳教育の動向と展望』、学文社 | 100-102 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 203-210 |
| 教育哲学研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 土屋陽介 2 . 論文標題 子どもの哲学(P4C) 3 . 雑誌名 日本道徳教育学会全集編集委員会・柳沼良太・行安茂・西野真由美・林泰成(編著)『新道徳教育全集 第2巻 諸外国の道徳教育の動向と展望』、学文社 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし | 100-102 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 203-210 査読の有無 無 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 土屋陽介 2 . 論文標題 子どもの哲学(P4C) 3 . 雑誌名 日本道徳教育学会全集編集委員会・柳沼良太・行安茂・西野真由美・林泰成(編著)『新道徳教育全集第2巻 諸外国の道徳教育の動向と展望』、学文社 | 100-102 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 203-210 査読の有無 |

| 1 . 著名名 上国際介 | | |
|--|--|---|
| | 1.著者名 | 4 . 巻 |
| | | |
| 「考える人を育てる教育」はどのようなものであってはならないか: 知的徳の教育の観点から 2021年 3. 雑誌名 フィルカル 6. 無初と最後の頁 102-118 開戦論文のDOI(デジタルオブジェクト選別子) なし 国際共著 フィルカル 1. 業者名 土屋陽介 4. 巻 フィ 2. 論文程題 加的な安全性について: 哲学対話を過徳料の授業の中に取り入れることの可能性と危険性 5. 飛行年 2022年 3. 雑誌名 倫理学年報 6. 最初と最後の頁 96-100 1. 業者名 付別書と フィブンアクセス 国際共著 フィフンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4. 巻 フィフンス フィフンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 業者名 付別書と なし 4. 巻 フィフンアクセス 5. 飛行年 2020年 3. 雑誌名 哲学 6. 最初と最後の頁 164-175 日際共著 フィブンアクセス 1. 著名名 付別確と 2. 流々理題 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業ブくりの試み・「媒介教材を用いた授業」を事例として 2020年 4. 巻 3 3. 雑誌名 対議を 2. 流々理題 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業ブくりの試み・「媒介教材を用いた授業」を事例として 2020年 5. 発行年 2020年 3. 雑誌名 対議を 日間会入財話 6. 星初と最後の頁 12-23 3. 雑誌名 財務論文の2001(デジタルオブジェクト識別子) なし 6. 星初と最後の頁 12-23 3. 雑誌名 日間等共著 6. 星初と最後の頁 12-23 | | - (-) |
| 「考える人を育てる教育」はどのようなものであってはならないか: 知的徳の教育の観点から 2021年 3. 雑誌名 フィルカル 6. 無初と最後の頁 102-118 開戦論文のDOI(デジタルオブジェクト選別子) なし 国際共著 フィルカル 1. 業者名 土屋陽介 4. 巻 フィ 2. 論文程題 加的な安全性について: 哲学対話を過徳料の授業の中に取り入れることの可能性と危険性 5. 飛行年 2022年 3. 雑誌名 倫理学年報 6. 最初と最後の頁 96-100 1. 業者名 付別書と フィブンアクセス 国際共著 フィフンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4. 巻 フィフンス フィフンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 業者名 付別書と なし 4. 巻 フィフンアクセス 5. 飛行年 2020年 3. 雑誌名 哲学 6. 最初と最後の頁 164-175 日際共著 フィブンアクセス 1. 著名名 付別確と 2. 流々理題 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業ブくりの試み・「媒介教材を用いた授業」を事例として 2020年 4. 巻 3 3. 雑誌名 対議を 2. 流々理題 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業ブくりの試み・「媒介教材を用いた授業」を事例として 2020年 5. 発行年 2020年 3. 雑誌名 対議を 日間会入財話 6. 星初と最後の頁 12-23 3. 雑誌名 財務論文の2001(デジタルオブジェクト識別子) なし 6. 星初と最後の頁 12-23 3. 雑誌名 日間等共著 6. 星初と最後の頁 12-23 | 2 - 全人中福田 | r 28/=/= |
| 3. 補証名 フィルカル | | |
| 102-118 | 「考える人を育てる教育」はどのようなものであってはならないか:知的徳の教育の観点から | 2021年 |
| 102-118 | | |
| 102-118 | 3 雑誌名 | 6 最初と最後の百 |
| 指載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 一 | | |
| ## オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 カープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 著名名 土属隔介 4 ・ 巻 パ 2022年 2022 | אנגאוראל | 102-118 |
| ## オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 カープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 著名名 土属隔介 4 ・ 巻 パ 2022年 2022 | | |
| ## オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 カープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 著名名 土属隔介 4 ・ 巻 パ 2022年 2022 | | |
| ## オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 カープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 著名名 土属隔介 4 ・ 巻 パ 2022年 2022 | 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) | 査読の有無 |
| 1 著名名 | · | |
| 1 . 著者名 1 . 著者名 2 . 論文標語 2 . 競行年 2022年 | <i>A</i> 0 | //// |
| 1 . 著者名 1 . 著者名 2 . 論文標語 2 . 競行年 2022年 | | |
| 1 - 著名名 土屋陽介 2 - 論文標題 別的な安全性について: 哲学対話を遺徳科の授業の中に取り入れることの可能性と危険性 2 - 競び標題 | • • • • • • | 国除共者 |
| 土屋陽介 71 2 . 論文標題 知的な安全性について:哲学対話を道徳科の授業の中に取り入れることの可能性と危険性 5 . 飛行年 2002年 3 . 韓誌名 倫理学年報 6 . 最初と最後の頁 96-100 掲載論文の001 (デジタルオプジェクト識別子) なし 国際共著 1 . 著名名 村満難之 4 . 巻 72 2 . 論文標題 方法的知識と傾向性 方法的知識と傾向性 方法的知識と傾向性 方法的知識と傾向性 方法的知識と可の1 (デジタルオプジェクト識別子) なし 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 哲学 6 . 最初と最後の頁 164-175 掲載論文の001 (デジタルオプジェクト識別子) なし 直読の有無 有 1 . 著名名 村満額之 4 . 巻 3 2 . 論文標題 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として 2021年 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 思考と対話 6 . 最初と最後の頁 12-23 現職経名 認考と対話 6 . 最初と最後の頁 12-23 現職経名 認考と対話 6 . 最初と最後の頁 12-23 オープンアクセス 国際共者 | オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | - |
| 土屋陽介 71 2 . 論文標題 知的な安全性について:哲学対話を道徳科の授業の中に取り入れることの可能性と危険性 5 . 飛行年 2002年 3 . 韓誌名 倫理学年報 6 . 最初と最後の頁 96-100 掲載論文の001 (デジタルオプジェクト識別子) なし 国際共著 1 . 著名名 村満難之 4 . 巻 72 2 . 論文標題 方法的知識と傾向性 方法的知識と傾向性 方法的知識と傾向性 方法的知識と傾向性 方法的知識と可の1 (デジタルオプジェクト識別子) なし 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 哲学 6 . 最初と最後の頁 164-175 掲載論文の001 (デジタルオプジェクト識別子) なし 直読の有無 有 1 . 著名名 村満額之 4 . 巻 3 2 . 論文標題 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として 2021年 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 思考と対話 6 . 最初と最後の頁 12-23 現職経名 認考と対話 6 . 最初と最後の頁 12-23 現職経名 認考と対話 6 . 最初と最後の頁 12-23 オープンアクセス 国際共者 | | |
| 土屋陽介 71 2 . 論文標題 知的な安全性について:哲学対話を道徳科の授業の中に取り入れることの可能性と危険性 5 . 飛行年 2002年 3 . 韓誌名 倫理学年報 6 . 最初と最後の頁 96-100 掲載論文の001 (デジタルオプジェクト識別子) なし 国際共著 1 . 著名名 村満難之 4 . 巻 72 2 . 論文標題 方法的知識と傾向性 方法的知識と傾向性 方法的知識と傾向性 方法的知識と傾向性 方法的知識と可の1 (デジタルオプジェクト識別子) なし 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 哲学 6 . 最初と最後の頁 164-175 掲載論文の001 (デジタルオプジェクト識別子) なし 直読の有無 有 1 . 著名名 村満額之 4 . 巻 3 2 . 論文標題 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として 2021年 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 思考と対話 6 . 最初と最後の頁 12-23 現職経名 認考と対話 6 . 最初と最後の頁 12-23 現職経名 認考と対話 6 . 最初と最後の頁 12-23 オープンアクセス 国際共者 | 1 英字夕 | л ¥ |
| 2 - 論文標題 知的な安全性について: 哲学対話を道徳科の授業の中に取り入れることの可能性と危険性 2022年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 96-100 据教論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) | | |
| 知的な安全性について:哲学対話を道徳科の授業の中に取り入れることの可能性と危険性 3. 雑誌名 倫理学年報 おープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著書名 村浦智之 2. 論文標題 方法的知識と傾向性 方法的知識はいかなる知識か? 3. 雑誌名 哲学 おープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 5. 発行年 2021年 6. 最初と最後の頁 164-175 編載立のDOI (デジタルオプジェクト識別子) | 土屋陽介 | 71 |
| 知的な安全性について:哲学対話を道徳科の授業の中に取り入れることの可能性と危険性 3. 雑誌名 倫理学年報 おープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著書名 村浦智之 2. 論文標題 方法的知識と傾向性 方法的知識はいかなる知識か? 3. 雑誌名 哲学 おープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 5. 発行年 2021年 6. 最初と最後の頁 164-175 編載立のDOI (デジタルオプジェクト識別子) | | |
| 知的な安全性について:哲学対話を道徳科の授業の中に取り入れることの可能性と危険性 3. 雑誌名 倫理学年報 おープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著書名 村浦智之 2. 論文標題 方法的知識と傾向性 方法的知識はいかなる知識か? 3. 雑誌名 哲学 おープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 5. 発行年 2021年 6. 最初と最後の頁 164-175 編載立のDOI (デジタルオプジェクト識別子) | 2 論文種頭 | 5 発行年 |
| 3 . 雑誌名 倫理学年報 | | |
| 編載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 金読の有無 無 オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著者名 4 . 巻 72 72 72 72 72 72 72 | 知的な女主性について:哲字对詁を追徳科の授業の中に取り入れることの可能性と危険性 | 2022年 |
| 編載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 金読の有無 無 オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著者名 4 . 巻 72 72 72 72 72 72 72 | | |
| 編載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 金読の有無 無 オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著者名 4 . 巻 72 72 72 72 72 72 72 | 3,雑誌名 | 6.最初と最後の百 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし | | |
| ### オープンアクセス | I₩Æ╆╈₩ | 30-100 |
| ### オープンアクセス | | |
| ### オープンアクセス | | |
| ### オープンアクセス | 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) | 査読の有無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 著者名 | | |
| オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1. 著者名 村瀬智之 4.巻 72 2. 論文標題 方法的知識と傾向性 方法的知識はいかなる知識か? 5.発行年 2021年 3. 雑誌名 哲学 6.最初と最後の頁 164-175 掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子) なし 重談の有無 有 1. 著者名 村瀬智之 4.巻 3 2. 論文標題 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として 5.発行年 2021年 3. 雑誌名 思考と対話 6.最初と最後の頁 12-23 掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 なし オープンアクセス 国際共著 | | ~~ |
| オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1. 著者名 村瀬智之 4.巻 72 2. 論文標題 方法的知識と傾向性 方法的知識はいかなる知識か? 5.発行年 2021年 3. 雑誌名 哲学 6.最初と最後の頁 164-175 掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子) なし 重談の有無 有 1. 著者名 村瀬智之 4.巻 3 2. 論文標題 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として 5.発行年 2021年 3. 雑誌名 思考と対話 6.最初と最後の頁 12-23 掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 なし オープンアクセス 国際共著 | | |
| 1 . 著者名 村瀬智之 4 . 巻 72 2 . 論文標題 方法的知識と傾向性 方法的知識はいかなる知識か? 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 哲学 6 . 最初と最後の頁 164-175 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 有 オープンアクセス 村瀬智之 4 . 巻 3 1 . 養者名 村瀬智之 4 . 巻 3 2 . 論文標題 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として ・ 銀誌名 思考と対話 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 思考と対話 6 . 最初と最後の頁 12-23 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 | オープンアクセス | 国際共者 |
| 1 . 著者名 村瀬智之 4 . 巻 72 2 . 論文標題 方法的知識と傾向性 方法的知識はいかなる知識か? 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 哲学 6 . 最初と最後の頁 164-175 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 有 オープンアクセス 村瀬智之 4 . 巻 3 1 . 養者名 村瀬智之 4 . 巻 3 2 . 論文標題 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として ・ 銀誌名 思考と対話 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 思考と対話 6 . 最初と最後の頁 12-23 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 | オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | - |
| 村瀬智之 72 2 . 論文標題 方法的知識と傾向性 方法的知識はいかなる知識か? 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 哲学 6 . 最初と最後の頁 164-175 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 面際共著 - オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著書名 村瀬智之 4 . 巻 3 2 . 論文標題 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として 2021年 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 思考と対話 6 . 最初と最後の頁 12-23 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 直読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 | | |
| 村瀬智之 72 2 . 論文標題 方法的知識と傾向性 方法的知識はいかなる知識か? 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 哲学 6 . 最初と最後の頁 164-175 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 面際共著 - オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著書名 村瀬智之 4 . 巻 3 2 . 論文標題 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として 2021年 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 思考と対話 6 . 最初と最後の頁 12-23 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 直読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 | 1 | 4 * |
| 2 . 論文標題 方法的知識と傾向性 方法的知識はいかなる知識か? 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 哲学 6 . 最初と最後の頁 164-175 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 ・ 1 . 著者名 村瀬智之 4 . 巻 3 2 . 論文標題 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として ・ 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 思考と対話 6 . 最初と最後の頁 12-23 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 | | |
| 方法的知識と傾向性 方法的知識はいかなる知識か? 2021年 3 . 雑誌名哲学 6 . 最初と最後の頁 164-175 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 国際共著 - 1 . 著者名 付瀬智之 4 . 巻 3 2 . 論文標題「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として 2021年 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 思考と対話 6 . 最初と最後の頁 12-23 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オーブンアクセス 国際共著 | 村瀬智之 | 72 |
| 方法的知識と傾向性 方法的知識はいかなる知識か? 2021年 3 . 雑誌名哲学 6 . 最初と最後の頁 164-175 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 国際共著 - 1 . 著者名 付瀬智之 4 . 巻 3 2 . 論文標題「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として 2021年 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 思考と対話 6 . 最初と最後の頁 12-23 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オーブンアクセス 国際共著 | | |
| 方法的知識と傾向性 方法的知識はいかなる知識か? 2021年 3 . 雑誌名哲学 6 . 最初と最後の頁 164-175 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 国際共著 - 1 . 著者名 付瀬智之 4 . 巻 3 2 . 論文標題「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として 2021年 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 思考と対話 6 . 最初と最後の頁 12-23 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オーブンアクセス 国際共著 | 2 論文種類 | 5 発行在 |
| 3 . 雑誌名 哲学 6 . 最初と最後の頁 164-175 | | |
| 哲学164-175掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス 1 . 著者名 村瀬智之国際共著 32 . 論文標題 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として 1-235 . 発行年 2021年3 . 雑誌名 思考と対話6 . 最初と最後の頁 12-23掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著 | 万法的和誠と傾回生 万法的和誠はいかなる和誠か? | 2021年 |
| 哲学164-175掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス 1 . 著者名 村瀬智之国際共著 32 . 論文標題 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として 1-235 . 発行年 2021年3 . 雑誌名 思考と対話6 . 最初と最後の頁 12-23掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著 | | |
| 哲学164-175掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス 1 . 著者名 村瀬智之国際共著 32 . 論文標題 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として 1-235 . 発行年 2021年3 . 雑誌名 思考と対話6 . 最初と最後の頁 12-23掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著 | 3. 雑誌名 | 6 . 最初と最後の頁 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし | | |
| なし 有 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 1 . 著者名 村瀬智之 4 . 巻 3 2 . 論文標題 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として 日表と対話 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 思考と対話 6 . 最初と最後の頁 12-23 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 | | 164-175 |
| なし 有 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 1 . 著者名 村瀬智之 4 . 巻 3 2 . 論文標題 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として 日表と対話 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 思考と対話 6 . 最初と最後の頁 12-23 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 | | 164-175 |
| なし 有 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 1 . 著者名 村瀬智之 4 . 巻 3 2 . 論文標題 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として 日表と対話 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 思考と対話 6 . 最初と最後の頁 12-23 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 | | 164-175 |
| オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 村瀬智之 4 . 巻 3 2 . 論文標題 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として | 哲学 | |
| オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 村瀬智之 4 . 巻 3 2 . 論文標題 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として | 哲学 | |
| オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 村瀬智之 4 . 巻 3 2 . 論文標題 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として | 哲学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) | 査読の有無 |
| オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 村瀬智之 4 . 巻 3 2 . 論文標題 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として | 哲学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) | 査読の有無 |
| 1 . 著者名 村瀬智之 4 . 巻 3 5 . 発行年 で哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 12-23 相議論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 有 オープンアクセス 国際共著 本 . 巻 3 本 . 一 でありた。 でありた。 でありた。 では、 では、 | 哲学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 |
| 村瀬智之32.論文標題「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として 2021年 2021年 2021年 12-233.雑誌名 思考と対話6.最初と最後の頁 12-23掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし 有査読の有無 有オープンアクセス国際共著 | 哲学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス | 査読の有無 有 |
| 村瀬智之32.論文標題「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として 2021年 2021年 2021年 12-233.雑誌名 思考と対話6.最初と最後の頁 12-23掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし 有査読の有無 有オープンアクセス国際共著 | 哲学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス | 査読の有無 有 |
| 村瀬智之32.論文標題「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として 2021年 2021年 2021年 12-233.雑誌名 思考と対話6.最初と最後の頁 12-23掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし 有査読の有無 有オープンアクセス国際共著 | 哲学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス | 査読の有無 有 |
| 2.論文標題 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として -5.発行年 2021年3.雑誌名 思考と対話6.最初と最後の頁 12-23掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著 | 哲学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 査読の有無 有 国際共著 |
| 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として -2021年3.雑誌名 思考と対話6.最初と最後の頁 12-23掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著 | 哲学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 | 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 |
| 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として -2021年3.雑誌名 思考と対話6.最初と最後の頁 12-23掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著 | 哲学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 | 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 |
| 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として -2021年3.雑誌名 思考と対話6.最初と最後の頁 12-23掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著 | 哲学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 村瀬智之 | 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 3 |
| - 3.雑誌名 6.最初と最後の頁 思考と対話 12-23 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無 なし 有 オープンアクセス 国際共著 | 哲学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 村瀬智之 | 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 3 |
| 思考と対話 12-23 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無 なし 有 オープンアクセス 国際共著 | 哲学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 村瀬智之 2 . 論文標題 | 直読の有無 有 国際共著 4 . 巻 3 5 . 発行年 |
| 思考と対話 12-23 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無 なし 有 オープンアクセス 国際共著 | 哲学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 村瀬智之 2 . 論文標題 | 直読の有無 有 国際共著 4 . 巻 3 5 . 発行年 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス 国際共著 | 哲学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 村瀬智之 2 . 論文標題 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として | 直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 3 5 . 発行年 2021年 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス 国際共著 | 哲学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 村瀬智之 2 . 論文標題 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として | 直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 3 5 . 発行年 2021年 |
| なし 有 オープンアクセス 国際共著 | 哲学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス | 直読の有無 有 国際共著 4 . 巻 3 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 |
| なし 有 オープンアクセス 国際共著 | 哲学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス | 直読の有無 有 国際共著 4 . 巻 3 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 |
| なし 有 オープンアクセス 国際共著 | 哲学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス | 直読の有無 有 国際共著 4 . 巻 3 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 |
| オープンアクセス 国際共著 | 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 3 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 12-23 |
| オープンアクセス 国際共著 | 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 3 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 12-23 |
| | 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 3 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 12-23 |
| | 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 3 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 12-23 |
| オーフンドクセスではない、乂はオーフンドクセスが困難 | 哲学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 村瀬智之 2 . 論文標題 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として - 3 . 雑誌名 思考と対話 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 直読の有無 国際共著 - 4 . 巻 3 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 12-23 査読の有無 有 |
| | 哲学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 村瀬智之 2 . 論文標題 「哲学に関わる対話的手法」を用いた公民科授業づくりの試み - 「媒介教材を用いた授業」を事例として - 3 . 雑誌名 思考と対話 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス | 直読の有無 国際共著 - 4 . 巻 3 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 12-23 査読の有無 有 |

| 1.著者名 村瀬智之 | |
|---|--|
| | 4 . 巻 |
| | 69(5) |
| | 00(0) |
| | |
| 2.論文標題 | 5 . 発行年 |
| 学生の主体的活動を軸とした技術者倫理教育の試み | 2021年 |
| ナエの工体10月到で抽で ひたけ 日間 性教育の 既の | 2021— |
| | |
| 3.雑誌名 | 6.最初と最後の頁 |
| 工学教育 | 49-54 |
| 工于秋月 | 49-54 |
| | |
| | |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) | 査読の有無 |
| | |
| なし | 有 |
| | |
| オープンアクセス | 国際共著 |
| オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | - |
| オープンデクセスとはない、又はオープンデクセスが困難 | - |
| | |
| 1.著者名 | 4 . 巻 |
| | 108 |
| 立花幸司 | 106 |
| | |
| 2.論文標題 | 5.発行年 |
| | |
| 哲学教育の端緒と終局:小島雅春先生のご退職に寄せて | 2021年 |
| | |
| 3 . 雑誌名 | 6.最初と最後の頁 |
| | |
| フィロソフィア | 144-153 |
| | |
| | |
| 担事やみでのDOL(ごうりはすず) ちょかのフン | 本共の大畑 |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) | 査読の有無 |
| なし | 無 |
| | |
| オープンアクセス | 国際共著 |
| · · · · · = · · | 国际共有 |
| オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | - |
| | • |
| 4 524 | 4 * |
| 1.著者名 | 4 . 巻 |
| Misawa Koichiro | 16 |
| | |
| 2 | F 36/-/- |
| 2.論文標題 | 5 . 発行年 |
| The pervasiveness of the rational-conceptual: an educational-philosophical perspective on | 2021年 |
| | • |
| | |
| nature, world and 'sustainable development' | こ 目切し目後の五 |
| | 6.最初と最後の頁 |
| nature, world and 'sustainable development' | 6.最初と最後の頁 289~306 |
| nature, world and 'sustainable development' 3.雑誌名 | |
| nature, world and 'sustainable development' 3.雑誌名 | |
| nature, world and 'sustainable development' 3.雑誌名 Ethics and Education | 289 ~ 306 |
| nature, world and 'sustainable development' 3.雑誌名 | |
| nature, world and 'sustainable development' 3.雑誌名 Ethics and Education 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) | 289~306 査読の有無 |
| nature, world and 'sustainable development' 3.雑誌名 Ethics and Education | 289 ~ 306 |
| nature, world and 'sustainable development' 3.雑誌名 Ethics and Education 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17449642.2021.1908647 | 289~306 査読の有無 有 |
| nature, world and 'sustainable development' 3.雑誌名 Ethics and Education 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17449642.2021.1908647 オープンアクセス | 289~306 査読の有無 |
| nature, world and 'sustainable development' 3.雑誌名 Ethics and Education 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17449642.2021.1908647 オープンアクセス | 289~306 査読の有無 有 |
| nature, world and 'sustainable development' 3.雑誌名 Ethics and Education 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17449642.2021.1908647 | 289~306 査読の有無 有 |
| nature, world and 'sustainable development' 3.雑誌名 Ethics and Education 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17449642.2021.1908647 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 289~306 査読の有無 有 国際共著 |
| nature, world and 'sustainable development' 3.雑誌名 Ethics and Education 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17449642.2021.1908647 オープンアクセス | 289~306 査読の有無 有 |
| nature, world and 'sustainable development' 3.雑誌名 Ethics and Education 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1080/17449642.2021.1908647 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 289~306 査読の有無 有 国際共著 |
| nature, world and 'sustainable development' 3.雑誌名 Ethics and Education 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17449642.2021.1908647 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 289~306 査読の有無 有 国際共著 - |
| nature, world and 'sustainable development' 3.雑誌名 Ethics and Education 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17449642.2021.1908647 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 土屋陽介 | 289~306 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 62 |
| nature, world and 'sustainable development' 3.雑誌名 Ethics and Education 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1080/17449642.2021.1908647 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 289~306 査読の有無 有 国際共著 - |
| nature, world and 'sustainable development' 3.雑誌名 Ethics and Education 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17449642.2021.1908647 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 土屋陽介 2.論文標題 | 289~306 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 62 5.発行年 |
| nature, world and 'sustainable development' 3.雑誌名 Ethics and Education 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17449642.2021.1908647 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 土屋陽介 | 289~306 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 62 |
| nature, world and 'sustainable development' 3. 雑誌名 Ethics and Education 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) | 289~306 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 62 5.発行年 2021年 |
| nature, world and 'sustainable development' 3.雑誌名 Ethics and Education 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1080/17449642.2021.1908647 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 土屋陽介 2.論文標題 | 289~306 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 62 5.発行年 |
| nature, world and 'sustainable development' 3. 雑誌名 Ethics and Education 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) | 289~306 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 62 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 |
| nature, world and 'sustainable development' 3. 雑誌名 Ethics and Education 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17449642.2021.1908647 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 土屋陽介 2. 論文標題 哲学対話ってなに?:哲学対話とカウンセリングマインド | 289~306 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 62 5.発行年 2021年 |
| nature, world and 'sustainable development' 3. 雑誌名 Ethics and Education 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) | 289~306 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 62 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 |
| nature, world and 'sustainable development' 3.雑誌名 Ethics and Education 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1080/17449642.2021.1908647 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 土屋陽介 2.論文標題 哲学対話ってなに?:哲学対話とカウンセリングマインド 3.雑誌名 東京私立学校保健研究会会誌 | 289~306 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 62 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 13-23 |
| nature, world and 'sustainable development' 3. 雑誌名 Ethics and Education 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) | 289~306 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 62 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 |
| nature, world and 'sustainable development' 3. 雑誌名 Ethics and Education 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17449642.2021.1908647 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 土屋陽介 2.論文標題 哲学対話ってなに?:哲学対話とカウンセリングマインド 3.雑誌名 東京私立学校保健研究会会誌 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) | 289~306 査読の有無 有 国際共著 - 4・巻 62 5・発行年 2021年 6・最初と最後の頁 13-23 査読の有無 |
| nature, world and 'sustainable development' 3.雑誌名 Ethics and Education 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1080/17449642.2021.1908647 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 土屋陽介 2.論文標題 哲学対話ってなに?:哲学対話とカウンセリングマインド 3.雑誌名 東京私立学校保健研究会会誌 | 289~306 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 62 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 13-23 |
| nature, world and 'sustainable development' 3. 雑誌名 Ethics and Education 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17449642.2021.1908647 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 土屋陽介 2. 論文標題 哲学対話ってなに?:哲学対話とカウンセリングマインド 3. 雑誌名 東京私立学校保健研究会会誌 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 289~306 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 62 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 13-23 査読の有無 無 |
| nature, world and 'sustainable development' 3. 雑誌名 Ethics and Education 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17449642.2021.1908647 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 土屋陽介 2.論文標題 哲学対話ってなに?:哲学対話とカウンセリングマインド 3.雑誌名 東京私立学校保健研究会会誌 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) | 289~306 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 62 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 13-23 査読の有無 無 |
| nature, world and 'sustainable development' 3. 雑誌名 Ethics and Education 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17449642.2021.1908647 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 土屋陽介 2.論文標題 哲学対話ってなに?:哲学対話とカウンセリングマインド 3.雑誌名 東京私立学校保健研究会会誌 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 289~306 査読の有無 有 国際共著 - 4・巻 62 5・発行年 2021年 6・最初と最後の頁 13-23 査読の有無 |

| 1 . 著者名 | 4 . 巻 |
|---|----------------------|
| 村瀬 智之 | 2021 |
| 0 AAAATTIT | = 7v./= |
| 2. 論文標題 | 5.発行年 |
| 方法的知識と傾向性 | 2021年 |
| 3.雑誌名 | 6.最初と最後の頁 |
| 哲学 | 164 ~ 175 |
| | |
| | The last sections |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) | 査読の有無 |
| 10.11439/philosophy.2021.164 | 有 |
| オープンアクセス | 国際共著 |
| オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | - |
| · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | |
| 1.著者名 | 4 . 巻 |
| Tachibana Koji | 0 |
| 2、 於一種 晤 | |
| 2.論文標題 Virtue Ethics and the Value of Saving Humanity | 5. 無行年 2020年 |
| VITTUE Ethics and the value of Saving humanity | 20204 |
| 3 . 雑誌名 | 6.最初と最後の頁 |
| Human Enhancements for Space Missions: Lunar, Martian, and Future Missions to the Outer Planets | 169 ~ 181 |
| (Edited by Konrad Szocik, Springer) | |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) | 査読の有無 |
| 掲載編文のDUT (デンタルオフシェクトaikが子) 10.1007/978-3-030-42036-9_12 | 直流の有無無無 |
| 10.1001/970-3-030-42030-3_12 | 211 |
| オープンアクセス | 国際共著 |
| オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | - |
| · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | |
| 1 . 著者名 | 4.巻 |
| 三澤 紘一郎 | 121 |
| 2.論文標題 | |
| リベラルな自然主義の展開と人間の自然性 自然・規範・教育の再定位 | 2020年 |
| | |
| 3 . 雑誌名 | 6.最初と最後の頁 |
| 教育哲学研究 | 93-111 |
| | |
| 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) | 査読の有無 |
| なし | 有 |
| | 13 |
| オープンアクセス | 国際共著 |
| オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | - |
| (产人双土) 与107件(これ切件等等 0件)これ同願产人 (2件) | |
| 〔学会発表〕 計27件(うち招待講演 3件 / うち国際学会 10件) 1 .発表者名 | |
| 1. | |

Koji Tachibana

2 発表標題

A Unique Role of Space Education for Cultivating Virtues and Morals

3 . 学会等名

Moral Development and Moral Education in Global Transition: Celebrating 50 Years of the Journal of Moral Education (国際学会)

4 . 発表年 2022年

| 1.発表者名 Koji Tachibana |
|---|
| 2 . 発表標題 Virtue Education and Japanese Culture: Towards a fruitful collaboration between philosophy, psychology, and pedagogy |
| 3 . 学会等名 Integrating Research on Character and Virtues: 10 Years of Impact(国際学会) |
| 4 . 発表年 2022年 |
| 1 . 発表者名 Koji Tachibana(企画) |
| 2.発表標題 Workshop: Virtue and Society through the Lens of Japanese School Education |
| 3.学会等名 Moral Development and Moral Education in Global Transition: Celebrating 50 Years of the Journal of Moral Education (国際学会) |
| 4 . 発表年 2022年 |
| 1.発表者名 立花幸司(企画) |
| 2 . 発表標題 公募ワークショップ「現代哲学として「徳」を研究する」 |
| 3 . 学会等名 第81回日本哲学会大会 |
| 4 . 発表年 2022年 |
| 1.発表者名 立花幸司 |
| 2 . 発表標題 日本語における「徳」の意味合いとギリシア哲学の役割について |
| 3 . 学会等名 第81回日本哲学会大会 |
| 4 . 発表年 2022年 |
| |

| 1 X = 2 O |
|--|
| 1 . 発表者名 山田圭一 |
| щ <u>н</u> т |
| |
| 2.発表標題 |
| 2. 光衣標題 「公共」的な見方とは何か 学習指導要領を哲学的に問い直す |
| |
| |
| 3.学会等名 |
| 3・チス寺石 第七十三回日本倫理学会 |
| |
| 4. 発表年 |
| 2022年 |
| 1.発表者名 |
| Kunimasa Sato |
| |
| |
| |
| Ameliorative Epistemic Responsibility |
| |
| |
| 3.学会等名 |
| つ・チスラロ Tokyo Forum for Analytic Philosophy(招待講演)(国際学会) |
| |
| 4. 発表年 |
| 2022年 |
| 1.発表者名 |
| Kunimasa Sato |
| |
| |
| 2.発表標題 |
| A Non-Ideal Epistemic Aim of Education: Epistemic Injustice, Vulnerability, and Care |
| |
| |
| |
| North American Association for Philosophy & Education(国際学会) |
| |
| 4. 発表年 2003年 |
| 2022年 |
| 1.発表者名 |
| Kunimasa Sato |
| |
| |
| 2.発表標題 |
| Critical Thinking and Ignorance |
| |
| |
| 3.学会等名 |
| North American Association for Philosophy & Education(国際学会) |
| |
| 4. 発表年 |
| 2022年 |
| |

| 1.発表者名 佐藤邦政 |
|--|
| 2.発表標題 証言的不正義、認識的不運、変容的責任 |
| 3.学会等名 第1回南山大学社会倫理研究所談話会(招待講演) |
| 4 . 発表年 2023年 |
| 1.発表者名 佐藤邦政 |
| 2 . 発表標題 認識的不正義の研究状況 |
| 3.学会等名 第73回日本倫理学会 |
| 4 . 発表年 2022年 |
| 1.発表者名 土屋陽介 |
| 2.発表標題教師は専門職か? |
| 3.学会等名 応用哲学会第14回年次研究大会 |
| 4 . 発表年 2022年 |
| 1.発表者名 Yohsuke Tsuchiya |
| 2.発表標題 Philosopher as "the dissensual other": An attempt to bring philosophical radicalism back to P4wC |
| 3 . 学会等名 The International Council of Philosophical Inquiry with Children(国際学会) |
| 4 . 発表年 2022年 |
| |

| 1.発表者名 |
|---|
| 土屋陽介 |
| |
| |
| 2 |
| 2.発表標題 |
| 哲学対話が「哲学」と「対話」の実践であるために:ガート・ビースタの哲学対話教育批判の検討を通して |
| |
| |
| 3. 学会等名 |
| 日本倫理学会第73回大会(招待講演) |
| |
| 4 . 発表年 |
| 2022年 |
| EVEL T |
| 1.発表者名 |
| 村瀬智之 |
| 13/MIC |
| |
| |
| 2.発表標題 |
| 教師の資質能力の批判的分析 |
| |
| |
| |
| 3 . 学会等名 |
| 応用哲学会第14回年次研究大会 |
| |
| 4. 発表年 |
| 2022年 |
| |
| 1 . 発表者名 |
| Tomoyuki Murase |
| |
| |
| 2.発表標題 |
| What makes us P4C teachers? |
| mat makes us 140 teachers: |
| |
| |
| 3.学会等名 |
| The International Council of Philosophical Inquiry with Children (国際学会) |
| |
| 4.発表年 |
| 2022年 |
| |
| 1.発表者名 |
| 立花幸司 |
| |
| |
| |
| 2.発表標題 |
| 日本における徳倫理学の受容からみる教育という論点の位置づけ |
| |
| |
| 3.学会等名 |
| |
| 教育哲学会第64回大会 |
| 4.発表年 |
| 4. 完衣牛 2021年 |
| ۷۷Z ۱ ' ۲ |
| |
| |

| 1.発表者名 |
|--|
| 立花幸司 |
| |
| |
| |
| 日本の宇宙安全保障に倫理的な観点が必要な理由 |
| |
| |
| and the second s |
| 3.学会等名 |
| 第65回宇宙科学技術連合講演会 |
| |
| 1 元·元·农士 |
| LVL1.T |
| 1.発表者名 |
| Koji Tachibana |
| |
| |
| |
| 2. 発表標題 |
| Virtues and Morals in the Space Age |
| |
| |
| |
| SSoCIA 2022: The 4th Biannual Meeting of The Society for Social and Conceptual Issues in Astrobiology(国際学会) |
| |
| 4.発表年 |
| 2022年 |
| |
| 1. 発表者名 |
| 山田圭一 |
| |
| |
| |
| ここれない版図 哲学教育ワークショップ「小中学校の特別な教科「道徳」の教科書と使い方を考える」(企画・趣意文) |
| - Blaves Notano Julivalimatvii 医mi Atvii自CKANIC Jun (正岡 (本図人) |
| |
| |
| 3 . 学会等名 |
| 第80回日本哲学会 |
| |
| 4.発表年 |
| 2021年 |
| 1 |
| 1 . 発表者名 佐藤邦政 |
| IT IffixプレルX |
| |
| |
| 2 . 発表標題 |
| 証言的正義の徳から解放的徳としての変容へ |
| |
| |
| 」 3.学会等名 |
| 3 . 字云寺名 第64回教育哲学会 |
| |
| |
| 1 元·元·农士 |
| |
| |
| |
| |

| 1.発表者名 佐藤邦斯 |
|--|
| 佐藤邦政 |
| |
| |
| 2 . 発表標題 ・ 北田根的な教育の初端的目的会・道徳と初端のハイブリッドな目的会に向けて |
| 非理想的な教育の認識的目的論:道徳と認識のハイブリッドな目的論に向けて |
| |
| - WARREN |
| 3.学会等名 第64回教育哲学会 |
| 为04凹 织 月节子云 |
| 4.発表年 |
| 2021年 |
| |
| 1 . 発表者名 三澤 紘一郎 |
| <i>그/</i> 목 제 교 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 |
| |
| |
| 2.発表標題 ラウンドテーブル「教育と徳倫理」(企画・司会) |
| フラフドナーフル・教育C1は旧注」(止凹・ロ云 <i>)</i> |
| |
| - WARREN |
| 3.学会等名 数竞技学会等64回生会 |
| 教育哲学会第64回大会 |
| 4.発表年 |
| 2021年 |
| |
| 1.発表者名 |
| 土屋陽介 |
| |
| |
| 2.発表標題 「考える」を充てる教育。はどのとうなものであってはならないか、知的徳の教育の知らから |
| 「考える人を育てる教育」はどのようなものであってはならないか:知的徳の教育の観点から |
| |
| |
| 3.学会等名 |
| 日本哲学プラクティス学会第3回大会 |
| 4.発表年 |
| 2021年 |
| |
| 1.発表者名 |
| 土屋陽介 |
| |
| |
| 2.発表標題 |
| 哲学対話はなぜ道徳教育の役に立つのか? |
| |
| |
| 3.学会等名 |
| 日本倫理学会、第72回大会 |
| 4.発表年 |
| 2021年 |
| , , |
| |
| |
| |

| 1.発表者名 村瀬智之 | |
|---|------------------|
| 2 . 発表標題 哲学対話では何が起こっているのか? 「配慮・尊重」と「問い」の関係を考える | |
| 3 . 学会等名 日本哲学プラクティス学会第3回大会 | |
| 4.発表年 2021年 | |
| 1.発表者名 Kunimasa Sato | |
| 2.発表標題 A Non-Ideal Epistemic Aim of Education | |
| 3. 学会等名 2021 ALPE Winter(国際学会) | |
| 4.発表年 2021年 | |
| 〔図書〕 計10件 | T |
| 1 . 著者名 ミランダ・フリッカー著、佐藤邦政監訳、飯塚理恵訳 | 4 . 発行年 2023年 |
| 2.出版社 動草書房 | 5.総ページ数 344 |
| 3.書名 認識的不正義 | |
| 1.著者名 新しい国語編集委員会(編) | 4 . 発行年 2021年 |
| 2.出版社東京書籍 | 5.総ページ数 336 |
| 3.書名 令和3年度中学校国語科用文部科学省検定済教科書『新しい国語 1』 | |
| | |

| 1.著者名 新しい国語編集委員会(編) | 4 . 発行年 2021年 |
|--|---------------------------|
| 2. 出版社東京書籍 | 5.総ページ数 336 |
| 3.書名 令和3年度中学校国語科用文部科学省検定済教科書『新しい国語 2』 | |
| 1.著者名 新しい国語編集委員会(編) | 4 . 発行年 2021年 |
| 2.出版社 東京書籍 | 5.総ページ数 ³³⁴ |
| 3.書名 令和3年度中学校国語科用文部科学省検定済教科書『新しい国語 3』 | |
| 1.著者名 新しい国語編集委員会(編) | 4.発行年 2021年 |
| 2.出版社 東京書籍 | 5.総ページ数 ³⁵⁹ |
| 3.書名 『新しい国語 1教師用指導書 研究編下』 | |
| 1.著者名 新しい国語編集委員会(編) | 4 . 発行年 2021年 |
| 2.出版社 東京書籍 | 5.総ページ数 ⁴²⁹ |
| 3.書名『新しい国語 2教師用指導書 研究編上』 | |

| | . 907= - |
|--|------------------|
| 1 . 著者名 | 4.発行年 |
| 新しい国語編集委員会(編) | 2021年 |
| | |
| | |
| | - W |
| 2. 出版社 | 5.総ページ数 |
| 東京書籍 | 347 |
| | |
| つ 事々 | |
| 3.書名 | |
| 『新しい国語 2教師用指導書 研究編下』 | |
| | |
| | |
| | |
| | J |
| 1.著者名 | 4.発行年 |
| 新しい国語編集委員会(編) | 2021年 |
| 177 V T PHRIMIP 小ススム(Mill / | |
| | |
| | |
| 2. 出版社 | 5.総ページ数 |
| 東京書籍 | 439 |
| | |
| | |
| 3 . 書名 | |
| 『新しい国語 3教師用指導書 研究編上』 | |
| | |
| | |
| | |
| |] |
| | T . 79/7= E- |
| 1 . 著者名 | 4.発行年 |
| 鳥飼 玖美子、鈴木 希明、綾部 保志、榎本 剛士 | 2021年 |
| | |
| | |
| 2.出版社 | 5.総ページ数 |
| | 5 . 総ペーン数 210 |
| ミネルヴァ書房 | 210 |
| | |
| 3.書名 | |
| 3 · 音句 よくわかる英語教育学((分担執筆)佐藤邦政「主体性」(共著、3、4節担当)) | |
| 6、12/1 0大師教育士((ガ2274年)は豚が以 工件は」(六名、3、4脚223 <i>))</i> | |
| | |
| | |
| | |
| | _ |
| 1.著者名 | 4 . 発行年 |
| 河野 哲也、得居 千照、永井 玲衣 | 2020年 |
| | |
| | |
| | |
| 2.出版社 | 5.総ページ数 |
| ひつじ書房 | 376 |
| | |
| | |
| 3.書名 | |
| ゼロからはじめる哲学対話((分担執筆)村瀬智之、「第4章-5 知識と科学」) | |
| | |
| | |
| | |
| | J |
| | |

〔産業財産権〕

〔その他〕

_

6 . 研究組織

| (日 | 6 | . 研究組織 | | |
|--|-------|---------------------------|----------------------|----|
| (Murase Tomoyuki) | | 氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号) | (機関番号) | 備考 |
| (00706468) (52601) 三澤 鉱一郎 群馬大学・共同教育学部・准教授 研究 (Misawa Koichiro) 担 山田 圭一 干栗大学・大学院人文科学研究院・教授 (Yamada Keiichi) 主屋 陽介 開智国際大学・教育学部・准教授 (Tsuchiya Yosuke) 者 (40806494) (32524) 佐藤 邦政 茨城大学・教育学部・助教 | | 村瀬 智之 | 東京工業高等専門学校・一般教育科・准教授 | |
| 三澤 鉱一郎 群馬大学・共同教育学部・准教授 (Misawa Koichiro) (12301) (1230 | 研究分担者 | (Murase Tomoyuki) | | |
| 研究 (Misawa Koichiro) 担 (20636170) (12301) (1 | | | (52601) | |
| 研究 (Misawa Koichiro) 担 (20636170) (12301) (1 | | 三澤 紘一郎 | 群馬大学・共同教育学部・准教授 | |
| 山田 圭一 千葉大学・大学院人文科学研究院・教授 | 研究分担者 | (Misawa Koichiro) | | |
| 山田 圭一 千葉大学・大学院人文科学研究院・教授 | | (20636170) | (12301) | |
| (Yamada Keiichi) | | | | |
| 土屋 陽介 開智国際大学・教育学部・准教授 研究分担者 (40806494) 佐藤 邦政 茨城大学・教育学部・助教 研究分分分別者 (Sato Kunimasa) | 研究分担者 | (Yamada Keiichi) | | |
| 土屋 陽介 開智国際大学・教育学部・准教授 研究分担者 (40806494) 佐藤 邦政 茨城大学・教育学部・助教 研究分分分別者 (Sato Kunimasa) | | (30535828) | (12501) | |
| 研究 分担者 (40806494) (32524) 佐藤 邦政 茨城大学・教育学部・助教 (Sato Kunimasa) | | | | |
| 佐藤 邦政 茨城大学・教育学部・助教 | 研究分担者 | | | |
| 佐藤 邦政 茨城大学・教育学部・助教 | | (40806494) | (32524) | |
| 研究 分 担 _者 | | | | |
| (12101) (12101) | 研究分担者 | (Sato Kunimasa) | | |
| | L | (50781100) | (12101) | |

7.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

| 共同研究相手国 | 相手方研究機関 |
|---------|---------|
|---------|---------|